

2018.12.13

2018.12.14 改訂

第 38 回 天文学に関する技術シンポジウム世話人会

2018 年度 世話人会企画「グループディスカッション」 企画書

1. はじめに

本書は、2018 年 1 月の技術シンポジウムでのグループ討論の企画書である。昨年度は、アンケート結果から時間不足が指摘されたが、本年度も時間は限られている。そのため、より一層ファシリテータへの要求は大きい。また、昨年度は議論できれば成功としていたが、2 年目となる本企画では、どのようにアウトプットするのかが求められる。これに関しては、グループディスカッションの発表の場で全体的な質疑や討論と、機会があれば総括ができればと考えている。

2. グループ討論のテーマと基調講演

グループ討論のテーマは、「日本の天文学に関する技術の問題点と将来像」の 1 つとする。また、グループ討論の前に以下 2 件(20min/件)の基調講演を行い、その発表をもとにしてテーマに基づきディスカッションを実施したいと考えている。なお、基調講演での質疑応答は設けずにグループ内で議論することとする。

① 常田 国立天文台 台長

国立天文台の技術に関する問題提起や、大型計画、スペース天文学などの将来像について

② 本間 国立天文台 水沢 VLBI 観測所 所長

VERA の運用経験や大学連携プロジェクト、国際プロジェクトから日本の天文学の技術に関する問題提起、将来像について

基調講演の発表資料を集録へ掲載するため、資料を当日または後日に提出していただく。

また、基調講演は、技系職員には重要であり、かつ注目されているため、Zoom 接続や後日録画の技系職員内への公開する予定である。

3. グループとファシリテータ

各グループは、昨年度と同様に最大8名を超えないように調整する。12/13現在、発表者と聴講者合わせて、41名が参加予定のため、6 or 7グループとする。

各グループには、世話人会から指名したファシリテータを配置して進行や引き出し、引き立て役をお願いする。グループは、所属や年齢、立場などをできるだけ別にする。進め方や、議論の方法は各グループとファシリテータに一任するが、アイスブレイクと役割分担、ディスカッションのルールをお願いする。また、ファシリテータには事前にルールを説明して、議論において中立であることや全員が必ず発言するように配慮してもらうことを依頼する。表1に、グループとファシリテータ一覧を示す。

表1.ファシリテータ一覧(依頼予定)

| グループ名 | ファシリテータ氏名 | グループ人数 |
|-----------------|-----------|--------|
| A | 篠田 | 7 |
| B | 田澤 | 7 |
| C | 早野 | 7 |
| D | 林(左絵子) | 7 |
| E | 亀谷 | 7 |
| F | 竹腰 | 7 |
| G(調整用) | 藤井 | TBD |
| 発表での 進行と全体総括 | 都築 | 参加者全員 |

4. 当日の流れ

当日の流れを、表2に示す。ポスターセッション中に世話人会で机を移動し、グループごとに着席をしてもらう。その後、グループディスカッションの説明とルール、発表の予定などを説明する。次に、2件の基調講演を行い、すぐにディスカッションへ入ってもらう。

アイスブレイクは、必ず実施する。役割分担として発表者などを決めるが、ファシリテータが発表者を兼任しても問題はない。

懇親会では、3minほどで何を議論しているのか、初日の議論や、アイデアの紹介などをしてもらう。

各グループのディスカッション発表資料は、発表での進行と総括のため、2日目

の 13:00 までに世話人会へ提出する。また、これらの発表資料は、集録へ掲載する。

グループディスカッションの発表は、図 1 に示すようなグループの発表者と進行役と、パネラー（適切な参加者がいれば）を用意して、各グループ 5min でディスカッション内容や結果を発表する。全グループの発表後に、進行役による会場内で全体討論と、総括を行う。昨年度の経験から発表の時間が延びる可能性が大きいと、全体討論の時間で調整する必要がある。

表 2. 当日の流れ

| | 時間 | 項目 | 備考 |
|------|---------|------------------------------------|---|
| 1 日目 | -min | ポスターセッション(机移動) | ポスター中に世話人で移動 |
| | 5min | 世話人会企画の説明[佐藤] | グループディスカッションのルールと流れの説明 |
| | 20min | 基調講演 1 常田台長 | 質疑応答なし |
| | 20min | 基調講演 2 本間所長 | 質疑応答なし |
| | 1h50min | グループディスカッション (アイスブレイク・ディスカッション) | |
| | 懇親会 | 中間報告 | 簡単な報告(2~3min 程度で OK) (代表者 or ファシリテータ) |
| 2 日目 | 50min | グループディスカッション (まとめ、発表準備) | 発表資料は、13:00 まで世話人会に提出する |
| | 20min | 休憩(机整理) | |
| | 35min | グループディスカッション(発表) [進行:都築] | 5min/group で発表 (個々のグループへの質疑なし) |
| | 20min | 全体討論[進行:都築] | 進行役による全体討論 進行役やパネラーによる意見、全体への質問などを行う (前の発表が延長し、 時間短縮になる可能性大) |
| | 5min | 総括[進行:都築] | 総括 |

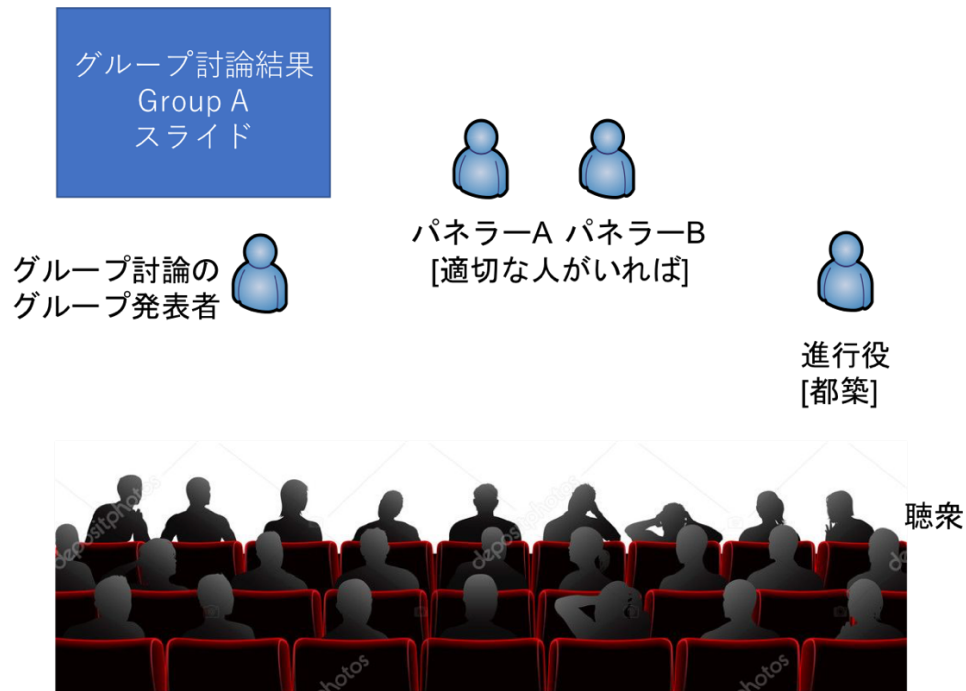


図1 グループディスカッション発表のイメージ

5. 必要なツール

昨年同様に、付箋、A3の紙、マーカーなどを用意する（昨年度の余りを利用）。発表のプレゼンでPCが必要となるが、個人管理のものを使ってもらうことになる。

6. ディスカッションのルール

基本的に、各グループの方法に任せるが、下記の内容はディスカッションのルールとして設定する。

① 参加者のルール

- 縄張り意識を持たない
- 相手を非難しない
- 肩書と立場を忘れる
- 人の話をよく聴く
- 思い込みを捨てる
- 意見の相違を歓迎する
- 楽しく議論する

② ファシリテータの心得

- 客観的立場に自分を置く
- 参加者・話し合いの当事者を主役にする
- 場の状態を把握する
- ファシリテータも意見を言って良いが、あくまで中立の立場を貫く

7. 英語対応

ハワイから英語オンリーの方が2名ほど参加されるので、英語討論のグループが必要となる。